

進学者 合格体験記

1. **新潟大学** 農学部農学科生物資源科学プログラム
2. **秋田県立大学** 生物資源科学部アグリビジネス学科
3. **(公)宮城大学** 食産業学群食資源開発学類
4. **東京農業大学** 国際食料情報学部国際バイオビジネス学科
5. **高崎健康福祉大学** 保健医療学部看護学科
6. **群馬県立農林大学校** 農林業ビジネス学科農と食のビジネスコース
7. **渋川看護専門学校** 看護学科

1. 新潟大学 農学部農学科生物資源科学プログラム

私は、1年生の頃は進学するか就職するか悩んでいました。そんな私が進学を決めたのは、高校2年生の冬でした。理由は、大学へ行きたくさんのことを知りたいと思ったからです。進学先を決定したのは、高校3年生の5月頃です。授業で家畜改良事業団へ見学に行ったことがきっかけでした。牛や豚などの改良を行っていることを知り、私も遺伝学を学び将来は家畜改良に携わりたいと考えるようになり、生物資源科学プログラムを志願しました。

私は、8月上旬まで部活動を続けていたため、夏休みの後半から試験対策を始めました。指導してくださった先生方のおかげで合格することが出来ました。ありがとうございました。

2. 秋田県立大学 生物資源科学部アグリビジネス学科

入学当時は野菜の生産を行う農家になりたいと思い、農業系の専門学校への進学を考えていました。しかし、勢多農林高校での実習を通して農業の知識を深めるうちに、3年生になる頃には、農業の経営者として農業をしたいと思うようになりました。ちょうどその頃に担任の先生から「国公立大学を受験しないか」と声をかけられました。今まで何度か声をかけられたことがありましたが、その時初めて挑戦してみたいと思いました。生産技術について研究したいと思い、プロジェクト活動に力を入れている、秋田県立大学への進学を決意しました。第1志望の秋田県立大学を受験する前に、練習もかねて第2志望の国立大学を受験しました。練習とはいえ面接・小論文の練習は本気で取り組みました。しかし、自分の力が足りず、プレゼンテーションによる二次試験で不合格となってしまい、しばらくは意気消沈してしまいました。それでも、第1志望合格に向けて気持ちを切り替え、これまで以上に面接・小論文対策を行いました。何度も挫けそうになりましたが、その度に気持ちを切り替えて努力してきました。そのおかげで受験当日は今までやってきたことを全て出し切ることが出来ました。振り返れば受験のためにやってきたことが、今の自分の自信になっていると思います。

3. 公立大学法人宮城大学 食産業学群食資源開発学類

私は牛乳が大好きで、牛乳について学ぶために、動物性食品について学ぶことが出来る大学に進学したいと考えていました。

大学に進学するために、私は学校の勉強だけでなく校外での活動にも力を入れました。2年次は酪農が盛んな北海道別海町で1週間のファームステイを行いました。3年次には海外の酪農にも興味を持ち、ニュージーランドでの酪農研修にも参加しました。また、資格取得にも積極的に取り組み3年間で10個の資格や検定に合格することが出来ました。

様々な活動を行ってきましたが、成績がうまく伸びず、大学進学を諦めた時期もありました。しかし、夏に先生から勧められた宮城大学では自分の学びたいことを勉強することが出来ると知り、もう1度大学進学に向けて動き始めました。

宮城大学では牛乳や肉、卵などの食資源について学ぶことが出来ます。オープンキャンパスに参加すると、雰囲気や学習内容が非常に魅力的でこの大学で学びたいという気持ちがさらに強くなりました。AO入試で受験し、自分が今まで学んできたこと、経験してきたことを全て伝えたつもりでしたが、合格通知が手元に来るまで不安でいっぱいでした。

私は将来、高校・大学で学んだことを活かして乳業メーカーに就職したいと考えています。大好きな牛乳と一生付き合い、消費者と酪農家の架け橋になります。

4. 東京農業大学 国際食料情報学部国際バイオビジネス学科

最初は、私自身就職を考えていました。よい就職先に行くことができるように、授業や部活動などにしっかり取り組んでいました。

進路を大学進学に決めたのは、3年最後の大会が終わった後でした。顧問の先生に「大学での4年間という時間は買えないものなんだよ。行って損はしない。経験もいろいろできるし、知識も増えるぞ」といわれ、進学したいと決意しました。

夏休みに入る前、顧問の先生から東京農業大学を薦められ、AO入試で受験することにしました。志願理由書や小論文を何度も書き、面接の練習は本番の前日までやっていました。私が合格できたのは、アドバイスをしてくれた先生や顧問の先生、陰ながら支えてくれた人たちのおかげです。それらの人たちに感謝し、大学でも頑張っていきます。

5. 高崎健康福祉大学 保健医療学部看護学科

明確に今の進路を目指したのは、2年生の春頃でした。勢多農から健大看護学科への進学の前例がなく、入試倍率もかなり高かったため、諦めようともうこともありました。しかし、少しでもよい環境で看護を学びたいという気持ちが強く、健大の受験にチャレンジすることを決意しました。

AO入試は問題の傾向をつかむのが難しいため苦戦しましたが、課題文、自己推薦書を何度も書き直し、面接練習や集団討論の対策にしっかり取り組みました。自ら決めた進路なので覚悟を決め、試験当日まで全力でやり抜くことができました。

合格できたのは、支えてくださった先生方、友人のおかげです。この感謝の気持ちを忘れずに、進学後も精進したいです。

6. 群馬県立農林大学校 農林業ビジネス学科農と食のビジネスコース

1年生の頃は進学しようとは思っていませんでした。就職するためにしっかりと成績を良くしようと、毎日部活と勉強に励んでいました。2年生で農林大学校へ見学に行き、話を聞いたり施設を見学したりして少し興味を持ち始め、3年の夏のオープンキャンパスで実際に授業を受けて、この学校に進学したいと決意しました。

夏休み明けから、受験の対策を始めました。試験は面接と小論文だったため、特に面接練習を頑張りました。放課後先生方をお願いして、何度も何度も練習しました。そのおかげで、無事合格することができました。この気持ちを忘れず、進学先でも頑張りたいと思います。

7. 渋川看護専門学校 看護学科

私は、中学の頃から看護師になるのが夢でした。勢多農林高校では自然や草花について学べて、さらに、看護学校へ進学している先輩もいるというところに魅力を感じ、勢多農に入学しました。

明確な進路を決めて勉強を始めたのは、夏休みからでした。夏休み中も毎日のように学校へ来て過去問題や小論文をやり込んでいました。二学期が始まってからも、放課後残って勉強や面接練習をしていました。努力はしていましたが、10月の推薦入試の結果は不合格でした。落胆し、何度も進路を変えようともうこともありました。諦めずに努力を続け、12月の一般入試で無事合格することができました。合格した日は、達成感と喜びで胸がいっぱいになりました。この結果は、指導してくださった先生方や、くじけそうになったとき支えてくれた家族、友人たちのおかげです。この感謝と努力を忘れずに、進学先でも精一杯頑張りたいと思います。